

# 研究 Report



No. 6 令和4年1月 池袋本町小学校

今年度の研究主題“自分らしい生き方を求める児童の育成－「考え、議論する道徳」の授業づくりを通して－”を踏まえ、3年生では「正直、誠実」について考える授業を行いました。教科書に載っている「長なわ大会の新記録」という教材をもとに、「自分の過ちを認め、自分自身に正直でいることの大切さや難しさについて考えさせ、自分の過ちに対して、周囲に流されず、素直に認めようとする実践意欲を育てること」をねらいとした授業を行いました。

今回の研究 Report では、第6回目の3年4組の研究授業の様子をお知らせします。今回で、今年度の研究授業は最後となりました。

- 1 講師 新宿区立戸塚第一小学校校長 表迫 信行先生
- 2 主題名 「明るい心で」(A 正直, 誠実)
- 3 教材名 「長なわ大会の新記録」
- 4 授業内容



## 【本時の目標】

自分の過ちを認め、自分自身に正直でいることの大切さや難しさについて考えさせ、自分の過ちに対して、周囲に流されず、素直に認めようとする実践意欲を育てる。

## 【主な学習活動】



## 導入

自分の失敗をごまかしてしまった経験はあるか、ごまかしてしまったとき、どんな気持ちになったかを聞きました。失敗をごまかすと気持ちが暗くなるという意見から、本時では「明るい心」で生活するために大切なことを考えていくことを確認しました。



## 展開前段

登場人物の「守」の気持ちを考えるため、心情メーターを使って自分の考えを示したり、役割演技を行ったりしました。役割演技は、長なわ大会の新記録が出てクラスみんなが喜んでいる中「3秒過ぎてしまった。」という過ちを正直に話すかだまっているかを守になりきって演じました。正直に話すと、心のもやもやが晴れること、だまっているとその場から逃げ出さなくなるような気持ちになることがわかりました。

## 展開後段

自分の生活を振り返り、もやもやすることなく「明るい心」で生活するためには、どのようなことが大切なのかを考え、ノートに自分の考えを書きました。「だまっていると嘘をつき続けることになるから、自分が苦しい。」「相手に怒られるかもしれないけど、それよりも正直に伝えた方が気持ちよく過ごせることがわかった。」などの意見がありました。



## 終末

担任の学生時代の『正直に言うかごまかすか、悩んだ上、正直に話して、ほっとした。』という話に、子供たちは真剣に耳を傾けていました。今後の生活でも、「正直、誠実」とはどのような態度なのか考えていきます。

